



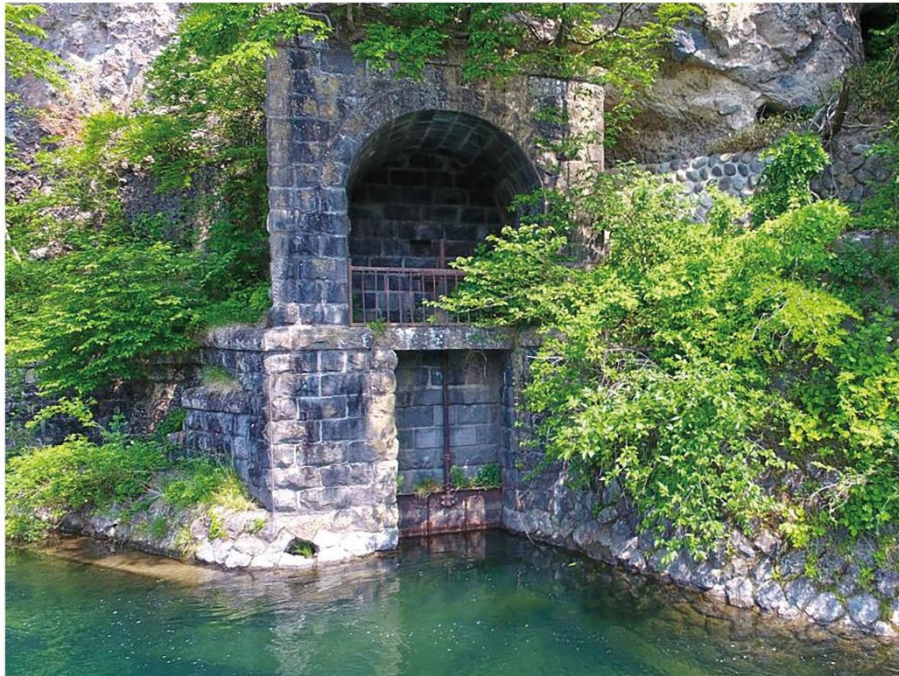
国際ロータリー 第2550地区

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter



2020-2021 年度 3 月号



写真：那須疏水旧取水施設 那須塩原市西岩崎

Contents

ガバナーメッセージ	2	ガバナー公式訪問 (黒磯・大田原中央)	11
栃木県国際交流協会資料	3-4	インターシティミーティング報告	12
21-22 年度テーマ講演	5-7	地区内主要行事・会員数報告	13
21-22 年度ガバナー地区方針・目標	8-9	コーディネーター NEWS	14
ガバナー公式訪問 (馬頭小川・烏山)	10	新入会員紹介	15

森本ガバナーメッセージ



水と衛生月間

国際ロータリー 第2550地区
2020-2021年度ガバナー

森本 敬三 (大田原中央 RC)

今月3月をウィキペディアで紐解きますと、旧暦で弥生と称し(水草弥や生ひ月)がつまって「やよい」になったといます。また海外ではローマ神話に出てくる戦と農耕の神マルス(ラテン語:Mars)からMARCHになったとあります。

凍てつく冬から、命の息吹の始まり月で、文化行事としては3日のひな祭りがあります。そして今年10年日になりますが決して忘れ去る事の出来ない11日があります。

原子力で多くの命を失った1945年、以降産業振興と共にエネルギー源としての原子力神話が生まれ今日の状況となっていると思います。

国際ロータリーでは今年7月から重点分野の1つとして「環境の保全」を新たに付け加えました。そして、今月は「水と衛生」月間です、私たちの住む日本は四方を海に囲まれ、その位置状況と背骨の様に南北に走る山並みにより気象条件に大きく左右され、四季をはっきりと感じられ、また、多くの火山の活動により肥沃な大地を形成し、世界でも稀な国土になっていると思います。

しかし、栃木県北那須地域は明治期に開発地域として日本三大疎水の1つである那須疎水を造り、水の確保に努め、並々ならぬ努力をされたお陰で緑豊かな大地を作り上げたのだと思います。今でも国家事業として国土強靱化と称して治山治水事業は続いています、其の甲斐もあり蛇口をひねると各家庭で、そして公園でも安心安全なおいしい水が飲める様になっています。これも先人の並々ならぬ水への努力のお陰と思います。先月2月28日に第5グループIMに参加させていただいた折に、タイ国3360地区チェンライロータリークラブ2013-14会長の原田義之先生の講話をお聞きしタイ国でも飲み水の確保は大変とお話をお話を

お聞きし、アフガニスタンで灌漑用水を造っていた故中村医師の取組みとダブるものがあり感銘を受けました。また、原田先生はタイ国で高校の教師を務める傍ら、少数民族への教育と支援を行っている事もお聞きし大変感動致しました。

さて、話は変わりますが、皆様にご報告があります。さる、2月21日に諮問委員会が初のZOOMにて開催されました。その後、地区運営委員会もZOOMで開催され従来とは異なった会議を開催いたしました。この様な形での開催は今までなかった事でしたが、コロナ禍とはいえ新しい取り組みに、こう云うのもありかなと思った次第です。

また、23日にはロータリー財団管理セミナーがZOOMにて開催されました。74名参加という大きなZOOM会議でしたが、お伝えする事は出来たのかなと思います、何か足りないものを感じた方もいたかなと思います。何もかも新しい事なので、戸惑いも多々ありました。また、既に財団支援金に対する感謝状を差し上げとクラブ名を発表しましたが、先の地区大会プログラム上で記載させていただいていました。お詫び申し上げます。

さて、3月4日に、宇都宮陽南クラブ会長様から栃木県国際交流協会がクラブに参られるとお聞きし訪問させていただきました。公益財団法人栃木県国際交流協会美野輪理事長並びに主査の田島様のお話を伺う事ができました。30年程前ですか私は当時大田原国際交流会の会員でした。栃木県国際交流協会(推津理事長)とも連携をしていたころ宇都宮90ロータリークラブの会長に理事長が就任しクラブが設立されたのを今でもよく覚えています。今回のお話は県内に住む外国人のお話と「やさしい日本語」のコミュニケーションについてのお話でした。次ページにその資料をお示しいたします。

2 Governor's Monthly Letter



みんなで広めよう！ 「やさしい日本語」

外国人とのコミュニケーションに、「やさしい日本語」で話してみませんか？

「外国人には外国語で話しかけなければ！」と思いがちですが、日本に暮らす外国人であれば、日本語が通じることも多いです。

また、観光客にも日本語でのあいさつは喜ばれます。

もし、日本人に話すように普通に話してみたら、通じない…

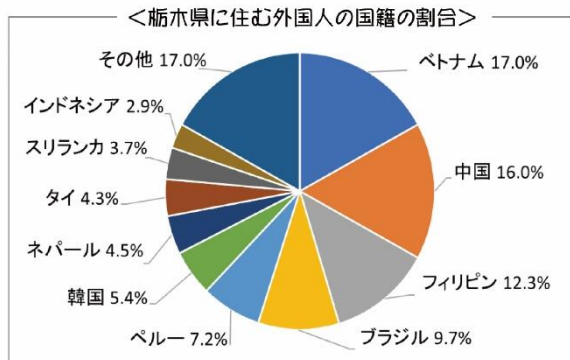
そんなときは、「やさしい日本語」で話すと伝わりやすくなります。



さまざまな国から来た外国人が暮らしています！

栃木県に住む外国人
42,835人(118 国・地域)
*2019.12 月現在

右のグラフを見ると、いろいろな国の人がいることがわかりますね。
みんなの共通することばとして、「やさしい日本語」を使ってみませんか？



公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA)

「やさしい日本語」ロゴマーク

『「やさしい日本語」でコミュニケーションします!』そんな
意思表示の目印として、ロゴマークをご活用ください!
また、ロゴマークを付けた外国人がいたら「やさしい日本語」
で対応してください。



「やさしい日本語」ロゴマークは、栃木県国際交流協会が作成
しました。ホームページからダウンロードできます。
<http://tia21.or.jp/>

「やさしい日本語」ワンポイントレッスン

「やさしい日本語」は、相手に伝わるようにわかりやすく工夫した日本語のことを
いいます。より伝わるためには、いくつかポイントがありますので一部をご紹介します。
ちゃんと通じてるかな?と想像しながら、相手に合わせて話すことが一番大切です!

■ ゆっくり、はっきり話す

早口で話してしまうと、外国人は聞き取れません。
そして、わかりやすいはっきりとした発音で話しましょう!

■ 短く区切って話す

長く話すと、ポイントが伝わりづらくなります。短く区切
って話してみてください。途中で「わかりますか?」と聞
くのもいいです。

■ 難しいことばは使わない

◇ 尊敬語や謙譲語はとてわかりづらいです

「ご覧ください」 → 「見てください」

「私が参ります」 → 「私が行きます」

◇ 漢字の熟語、カタカナ外来語を使いすぎない

「禁煙です」 → 「たばこをすわないでください」

「セール中です」 → 「今、安いです」

いかがですか? ちょっとした工夫で、外国人とのコミュニケーションが豊かになります。日常生活や職場、災害時
などさまざまな場面で活用できます。また、外国人だけでなく、高齢者や子ども等にも伝わりやすくなります。

お問合せ先:

TIA 公益財団法人栃木県国際交流協会

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内 TEL 028-621-0777 / URL <http://tia21.or.jp>



「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
 (Serve to Change Lives)

RI 会長エレクト

シェカール・メータ

ナマステ。皆さんは、奉仕とリーダーシップの旅路において、とても大切な一歩を踏み出します。これからの17カ月間は、皆さんの人生で最も素晴らしい、実りあるときとなるでしょう。

この期間を、人生で最も充実したときとすることができます。この期間には、私たちが共有するロータリーのビジョンに導かれながら、大きな夢に向かってくださるようお願いします。皆さんは、計画を立て、目標を定め、その目標を達成するようインスピレーションし、やる気を引き出します。その目標とは、会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げるといふ目標、そして、世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらすといふ目標です。この旅路において、皆さんは、地区のローターアクターと目標を分かちあい、「もっと行動し、もっと成長する」ための役割を担います。これは私たちに導く信念です。「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることの意味します。

会員増強は引き続き、最も大きな課題です。過去17年以上、ロータリーの会員数は120万人のまま横ばいとなっています。力を合わせて、これからの17カ月間でこれを変えようではありませんか。会員増強という点で、今、ロータリー史上最大の変革をもたらす機会が訪れています。過去17年間にロータリーが達成できなかったことを、今後17カ月間に達成することにチャレンジしてください。そんな夢は大きすぎる、とおっしゃるかもしれませんが、「夢は大きく」と私からお願いするのであれば、私自身が先頭に立たなければなりません。私がインスピレーションを受けた言葉の一つに、ジョージ・バーナード・ショアの次の言葉があります。「存在するものだけを見て、『なぜそうなのか』と考える人もいる。

しかし私は、いまだかつて存在しないものを夢見て、『なぜそうでないのか』と考える』ですから皆さん、夢は、2022年7月1日までに会員数を130万人に増やすことです。この信じられないような目標をどのように達成できるでしょうか。その答えは、「each one, bring one」、つまり、今後17カ月間に各ロータリアンが新会員一人を入会させるようお願いすることです。皆さんがすべきことは、17カ月間にたった一人を入会させるようお願いするだけです。皆さんご自身が模範を示し、またクラブ会長にも模範を示してもらうことで、これを確実にできます。全クラブのロータリアンがこれを実行すれば、そのそれぞれが「変革者」となり、新たにロータリアンとなる人の人生を永遠に変えることになるのです。

私たちは、「もっと行動する」ために「もっと成長する」必要があります。私は常に、「超我の奉仕」というロータリーの標語に大きな感銘を受けてきました。この言葉は、人びとを思いやり、分かち合うことの大切さを教えてくれました。私にとって奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです。これについて、ロータリーでの私自身の体験をご紹介します。私自身は、

ロータリークラブに入会したばかりの頃、手足が不自由な人のためのキャンプをクラブが実施しました。クラブはそこで、足の矯正具や義肢、ハンドサイクルを配布しました。全会員が役割を分担し、私の担当は、ハンドサイクルを受け取る人が手で車輪をこぐ力があるかどうかを確認することでした。手を引っ張ってもらい、相手の力を測るのです。私は、担当場所に立ち、ハンドサイクルを受け取りに来る人を待っていました。すると、ある人が地を這って私に近づいてきました。その人は足がなく、這うことしかできなかったのです。私は彼に向かって手を差し出しましたが、その瞬

2021-2022 年度テーマ講演



間、正直なところ、私の頭にあったのはその人のことではなく、自分のことでした。自分の清潔さや健康について考えたのです。彼の手を握りたくありませんでした。しかし、彼の手を握り、その後もやって来る人2、3人の手を握りながら、自分のことだけを考えていました。しか

し、6、7人目の後に突然、この人たちが抱える苦境に共感し、彼らの痛みと困難を感じ、自分よりも彼らのことを考えるようになったのです。その瞬間、私は、単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになったのです。

その後間もなく、もっと多くのプロジェクトに参加するようになりました。35年前、ロータリアンとして初めてインドの僻村に足を運んだとき、同胞たちが抱える苦境を真に理解しました。彼らの家にはトイレがなく、水浴びをするのと同じ池の水を飲み、一本の樹の木陰を学校として使い、唯一の黒板は黒いペンキを塗った壁でした。一番近い保健センターは数マイル先で、ごく基本的な設備しかありません。私たちは、ロータリークラブを通じて、トイレを設置し、安全な飲み水を提供し教育システムを改善し、世界級の医療設備を整えました。しかも、地元地域だけでなく、国中で。ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました。奉仕が私の生き方となったのです。

多くの方々と同じように、奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である“という信条を持つようになりました。模範的な借借人でありたいと思っています。皆さんも、それぞれが奉仕の機会を見出されたことでしょう。目の不自由な人に見る力を与え、お腹を空かせた人に食べ物を与え、ホームレスの人に住む場所を提供した方もおられるでしょう。これらは、小さな奉仕の機会だったかもしれませんが、大規模なプロジェクトだったかもしれません。奉仕を定義するのは、奉仕の規模だけでなく、奉仕に対する姿勢です。ガンディーはかつて、電車に乗ろうとしたときに、電車が動きだして片方のスリッパを落としてしまいました。ガンディーはとっさに、スリッパが落ちたところをめがけて、もう片方のスリッパを投げました。彼と一緒に旅行していた友人は、こう尋ねました。「なぜ投げたんだい？」。ガ

ンディーはこう答えました。「あのスリッパを誰かが見つかるだろう。片方だけでは役に立たないから、もう片方も投げたのだよ」。これはささやかな奉仕の行為ですが、その姿勢は見事だと思います。私たちは、自分よりも先に人のことを考える心構えがあるでしょうか。ロータリアンである私たちにとって大切なのは、それだけです。

ロータリアンが過去35年間にポリオ根絶や人類への奉仕のために数十億ドルもの資金や多大なボランティア時間を費やしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。何千という学校や何百という病院を整え、干上がった村に水を提供し、家庭にトイレをつくって尊厳を取り戻し、何万という子どもの心臓手術を通じて命という贈り物をしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。ロータリアンが奉仕し続けるのは、人びとの人生を豊かにしたいという願いからです。ネパールでのあるプロジェクトでは、数千人もの人生がより豊かになり、アフリカでの家族保健プログラムと、ハイチでの水プロジェクトでは、それぞれ一千万人以上の人生がより豊かになりました。

私の母国インドでは、識字と教育のT E A C Hプログラムで、何百万もの子どもの人生にインパクトを与えました。

皆さんの多くが、このような奉仕プロジェクトで大切な役割を担われ、人びとの人生をより豊かにしてきたでしょう。奉仕のニーズがあるからこそ皆さんは奉仕してこられたのです。今日、奉仕のニーズはさらに高まり、明白になっています。

ですから、来るロータリー年度には、人びとのために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただけるよう、切にお願いいたします。

この理由から、2021-22年度の私たちのテーマは「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives) といいたします。

皆さんご自身が模範を示し、持続的なインパクトをもたらすプロジェクトへのロータリアンとローターアクターの参加意欲を引き出してください。ほかのロータリアンや、他団体、企業と手を取り合い、地域社会にインパクトをもたらすプロジェクト、国や世界の人びとの人生を豊かにするプロジェクトを実施してください。ロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりも

2021-2022 年度テーマ講演



っとよくなったと感じるはずです。奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。インドの偉大な思想家の一人であるヴィヴェーカーナンダは、こう言いました。「誰かを助けるとき、その人に恩を施していると考えないでください。実際には、その人たちがあなたに恩を施しているのです。私たちが世界から授かった恩恵への恩返しをする機会を与えてくれているのです」。ヴィヴェーカーナンダはさらに次のような見事な言葉を加えました。「人生では、与える者、奉仕する者になりなさい。ただし与えるときも奉仕するときも謙虚になり、ひざまずいて『与えさせていただけますか』『奉仕させていただけますか』とお願いする気持ちになりなさい」ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。アルバート・アインシュタインが言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。奉仕イニシアチブに取りかかるにあたり、次年度の焦点は「女子のエンパワメント」となります。ロータリーの中核的価値観の一つは「多様性」です。ロータリーの DEI (多様性、公平さ、開放性) に対する信念を表した公式声明もあります。多くの場合、女子は不利な立場に置かれることが多く私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーはすべての子どもに奉仕しますが、特に「女子」に焦点を当てます。世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます。「もっと行動し、もっと成長する」ための会長イニシアチブが計画されています。世界各地で7つの重点分野に焦点を当てた7回の会長主催会議が開催されます。また、すべてのロータリークラブとローターアクトクラブが、ロータリアンとローターアクト、そして一般市民の参加を促すための「ロータリー奉仕デー」を実施することができます。ご自宅に最も近い場所で開催される会長主催会議にご参加いただくとともに、「ロータリー奉仕デー」に参加

するよう全クラブに呼びかけてください。ローターアクトとインターアクトにも参加してもらいましょう。ロータリークラブによる何千もの「ロータリー奉仕デー」を通じて、ロータリーの活動を世界に紹介しようではありませんか。変革者であるガバナーの皆さん、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、大きなインパクトをもたらすプロジェクトに取り組み、かつ会員数を史上初めて130万人にするという課題は、チャレンジに満ちています。このチャレンジに、皆さんの意欲は駆り立てられるでしょう。挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです。船は港にいれば安全ですが、船の目的は港にいないことではありません。海に出てこそ、船の目的が成就されます。変革者の皆さん、人生とは冒険であり、メンテナンスではありません。最後に、テーマについて私が書いた詩をご紹介します。

授けられた最大の贈り物は
誰かの人生に触れる力
変える力
違いをもたらす力
めぐりゆく命の中で
手を、心を、魂を
差し伸べるなら
魔法が起こる
歯車が回りだす ...
ともに歯車を回そう
全人類の繁栄のために
私たちに力と
魔法がある奉仕しよう ...
みんなの人生を豊かにするために ...

皆さんがどこでこの演説をお聞きになってもここで皆さんに、胸に手を当て、私と一緒に宣誓していただきたいと思います:「私たちに、奉仕し、みんなの人生を豊かにする力と魔法があります」変革者の皆さん、準備は整っていますか? 大きなチャレンジに立ち向かう準備ができていますか? 奉仕する準備ができていますか? みんなの人生を豊かにする準備ができていますか? 私は準備ができています。

皆さんも同じでしょう。ともに奉仕し、みんなの人生を豊かにしていこうではありませんか。

2021-2022 年度 ガバナー地区方針・目標



～ 未来のクラブを描きましょう ～

国際ロータリー 第 2550 地区
2021-2022 年度 ガバナー

石田 順一 (真岡 RC)

【地区方針】

- ◆RI テーマおよびロータリーの目標の達成を目指して、ロータリー活動を推進する。
- ◆全てのロータリー活動が、リーダーとしての「人材育成」となることに重点をおく。
- ◆ロータリーのプログラムを積極的に支援し、ロータリーと地域社会、世界とのつながりを深める。
- ◆ロータリアンがクラブ並びに RI や地区への関心を高め、多くの会員の参画を求める。
- ◆持続可能な発展に資する奉仕活動の推進。(ロータリー奉仕デーの実施)
- ◆オンライン会合のサポート

【目 標】

1. 参加者の基盤を広げましょう
*会員増強
(各クラブ純増2名を目指しましょう。会員を増やすことも大切ですが、退会者を出さないことがさらに重要
です。(みんなが一人を入会させよう)
*RLI・RYLA への会員の理解を深め積極的参加の促進
*インターアクトクラブ活動を支援し、良きリーダーとなるよう育成する
*青少年交換プログラムへの支援、協力
2. IT 活用の推進
*「My Rotary への登録を促進」
(現在38%の登録者数を70%に努力する)(My Rotaryには、多くの情報が提供されています。会員の皆様には、ぜひ登録していただき、活用をおねがいいたします。)
*「ロータリークラブセントラルへの全クラブ登録を促進」
3. 公共イメージの向上
*「ロータリー奉仕デー」を意識した活動及び広報(SNSの活用)支援
*ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図る。
*地区 SNS により活動を内外に発信する。
4. クラブ戦略計画の策定を推奨する
私たちが所属するクラブの現状をまず把握してください。会員の年齢構成、女性会員の割合、活画の評価などです。5年後、どのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであります。
この問題に必要なのが、クラブの戦略計画です。私達は、現在を、そして未来の姿を考えて行動を起こそうではありませんか。

2021-2022 年度 ガバナー地区方針・目標



5. 行動計画・ビジョン声明策定の奨励

- * 組織、会員、プロジェクト支援、さまざまな機会、ロータリーのビジョンを支える活動を導くことで、過去を称えるとともに未来を受け入れることを目的とする。
- * ロータリー活動に参加できる機会の提供「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」

6. ロータリー財団の活用と支援

- * 地区補助金を活用した地域社会への貢献
- * グローバル補助金を活用した国際社会への貢献
- * 公平性の高い財団寄付の推進「年次基金 一人 年間 150 ドル」の達成

7. ポリオ根絶活動の推進

- * ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。「一人 年間 30 ドル」の寄付の達成

8. 米山記念奨学会の支援

- * 米山奨学生が会員との交流を通じて、ロータリーに対する理解を深め、国際親善の積極的な推進を図るようにする。「一人 年間 19,000 円」の寄付

9. RI 会長賞受賞への挑戦の推奨

- * クラブセントラル活用を促進し、RI 会長賞受賞を支援する

10. 各種集会の基本的考え方

2020-21 年度開催する次年度を対象とする聞く行事、2021-22 年度内開催する地区行事は、地域新興感染症発生状況を眺めながら、三密を回避するために、オンライン、ないしはハイブリット型（人数制限した会場とオンラインの併用）を模索する。

また、各クラブ例会のオンライン化、ハイブリット化を模索していただきたい。オンライン参加は例会出席の大きな機会を与えてくれるに違いありません。

ガバナー公式訪問に関しては、原則、各クラブ入りを予定するが、感染症発生状況、三密回避できない場合には出席人数の制限又はオンライン化も検討する。

2020-2021 年度 ガバナー公式訪問



馬頭小川ロータリークラブ

会長 齋藤 正雄 幹事 高野 譲司

10/14 水

森本ガバナーおよび桜井ガバナー補佐を、去る令和2年10月14日付にて例会場「ホテル美玉の湯」にてお迎えし、公式訪問が開催されました。

今年はコロナ禍ということもあり、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、懇談会は森本ガバナー、桜井ガバナー補佐、会長および副会長の4名という制限された中で開催されました。

懇談会では、現況報告書の内容に基づき「クラブの活動方針と目標」が確認され、ガバナーより質疑が提出され、意見交換を実施し、貴重なご意見を多数賜りました。

その後、新会員の入会式が実施され、ガバナーより新会員に対してロータリーバッジが贈呈され、ガバナーより祝辞を賜りました。

また、集合写真を撮影した後に、通常例会を実施しました。通常例会では、ガバナーよりコロナ禍における第2550地区におけるロータリー活動について卓話をいただきました。

今年は大変厳しい年度となっておりますが、会員一同、気を引き締めて活動してまいります。

この度は遠方にも関わらずご訪問いただき誠にありがとうございました。



烏山ロータリークラブ

会長 福田 長弘 幹事 滝口 貴史

10/20 火

10月20日(火) 烏山ロータリークラブに、森本敬三ガバナー、桜井恵二ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問を行いました。

コロナ禍ではありましたが、会員が少ないこともあり11:00より会長・幹事懇談会、12:30より例会を感染症対策を行いながら開催するに至りました。例会時の森本ガバナーの卓話では、今年度のRIテーマであります「ロータリーは機会の扉を開く」について分かりやすく解説頂き、またクラブ運営へのアドバイスも賜りました。

マイロータリーの加入・クラブセントラルの登録など、当クラブの意識の向上を図って行き、地区補助事業活動の推進等の様々なロータリー活動を取り組んでいきたいと思っております。

コロナ禍の中ロータリー活動も大変な状況にありますが、公式訪問を新たな機会の扉と位置づけ、烏山ロータリークラブも一歩ずつ前に進んでいく決意ができたガバナー訪問になりました。

森本ガバナー、桜井ガバナー補佐、ご多忙にもかかわらずご来訪ありがとうございました。



2020-2021 年度 ガバナー公式訪問



黒磯ロータリークラブ

会長 大島 三千三 幹事 秋葉 秀樹

11/4 水

11月4日(水)「割烹 石山」に於きまして、第2550地区ガバナーによる公式訪問が行われました。午前中の懇談会は感染症対策のため、森本敬三ガバナー、秋間忍第一グループガバナー補佐、大島会長、秋葉幹事のみが出席して行われました。

懇談会では、五大奉仕委員会の委員長の力がクラブの魅力を増すためのキーポイントというお話いただきました。

例会では卓話を頂きました、5年間の行動計画のビジョンの重要性、これが、ドアが全部ではなく半分開いた状況でこれからロータリーが変わるということを表して、ロータリークラブがどのように5年後の姿を描いていますかということをお話頂きました。

今回の森本ガバナー公式訪問そして卓話を頂いたことは、コロナ禍で素晴らしい時間を持つことが出来ました。会員一同感謝しております。



大田原中央ロータリークラブ

会長 天野 雅彦 幹事 平山 賢一

11/12 木

2020-21年森本敬三ガバナー年度、最後の公式訪問が森本ガバナー所属クラブであります、大田原中央 RC 例会場勝田屋記念会館にて第1グループ秋間忍 AG、会長、幹事、次年度会長、次年度幹事の6名で開催されました。森本ガバナーより RI 会長ホルガー・クナー氏の年度テーマ「ロータリーは機械の扉を開く」ロゴカラーの説明や講話を頂きました、「太陽が出ているうちに屋根を修理しなければならない」、「ロータリーは変わらなければ…職業を通じて奉仕をしながら会員増強をめざす」そして「魅力ある元気なクラブにしましょう」など短時間で1時間程でしたが良い公式訪問でした。

その後の懇親会では、新型コロナウイルスのロータリーへの影響などを話題に、リモート例会の推進・必要性やコロナ感染拡大・収束時期・条件は？、また世界の人種についてなどを討論されました。

1週間後の夜間例会では、2550地区の公式訪問をお1人で回られた森本ガバナーを労い「森本ガバナーお疲れ様でしたパーティー」を盛大に開催し致しました。

森本敬三ガバナー公式訪問で大変苦勞様でした。



インターシティミーティング報告



インターシティミーティング報告

第5グループガバナー補佐 慶野保夫

第5グループ 2月28日(日) 小山RC・小山南RC・小山東RC・小山北RC・小山中央RC

他のグループのIM中止が続く中、第5グループは2021年2月28日小山グランドホテルにおいて、来賓に森本敬三ガバナー、鈴木宏バスターガバナーをお迎えし開催することができました。

準備の期間は首都圏及び地区内も緊急事態が発令され、例会を開くことさえ難しいなか、実行委員会が中心となって、感染防止策を徹底し、当日参加できない会員のためにYoutubeによる同時配信を行い地区大会をい、出席者を抑えた開催となりました。

今年のIMはコロナに負けるな・今年もロータリー・輝くIM《いまだから出来ることを探そう！やってみよう！》とテーマを掲げ、共同目録は事前に募金先を訪れ、その様子を会場で紹介する形式にし、感染リスクを極力低減する等工夫を実施しました。記念講演では、13年間、行動する奉仕活動を続けておられる、NPO法人タイ国学生日本語教育環境センター理事長原田義之様(RI第3360地区チェンライRC2013-14年度会長)に「輝く瞳に会いに行こう」～アカ族子供&村人支援13年の足跡～のテーマで講演をいただき、必要な地域にダイレクトな支援の重要性を学びました。

残念ですが懇親会は時節柄、開くことはできませんでしたが、共に学ぶということも親睦を深めることになり得るのではないかと考えます。

コロナ禍での開催で、種々の問題がありましたが第5グループの皆様のご指導・ご協力と実行委員会並びにホストクラブである小山中央ロータリークラブの皆様の協力をいただき、無事に開催することができました。

今回のIMをとおして多くの事を学ばせていただきましたことを感謝申し上げ、IM開催報告とさせていただきます。ありがとうございました。



地区内主要行事・会員数報告



2020-2021 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	形 式	場 所	担 当
3	11	土	足利わたらせロータリークラブ 創立 30 周年記念例会		ニューミヤコヤホテル	
3	13	土	財団地区補助金による奨学金 申請者面接 2 名		ガバナー事務所	地区ロータリー 財団委員会
3	28	日	2021-22 年度 会長エレクト 研修セミナー (PETS)	★Zoom 開催		ホスト:真岡 RC
4	11	日	2021-22 年度 地区研修・協議会	★中止		ホスト:真岡 RC
4	18	日	米山新奨学生・カウンセラー対象 オリエンテーション		ニホテルユーイタヤ	地区米山記念奨学委員会
6	20	日	第 1 回地区米山委員会・奨学生卓話 研修会			

米山記念奨学会功労者

平野 利一	宇都宮東	1 回	磯貝 太	宇都宮南	1 回	関口 隆	宇都宮南	4 回
仲田 俊夫	宇都宮南	10 回	坂本 昭一	宇都宮南	3 回	山本 幹夫	宇都宮南	5 回

月信 8 号米山功労者の所属クラブに名に誤りがありましたので訂正がある方のみ再度掲載させていただきます。

1 月会員数報告

クラブ名	例 会 数	会 員 数									
		7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	40歳 未満	40歳 未満	
第1グループ	大 田 原	0	29	30	0	0	2	1	1	1	0
	黒 磯	1	36	37	0	0	1	0	1	2	1
	西那須野	2	50	48	0	0	2	4	-2	3	0
	黒 羽	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	0	25	25	0	0	0	0	0	1	2
第2グループ	鳥 山	1	18	19	0	0	1	0	1	1	0
	氏 家	0	25	24	1	0	1	2	-1	2	0
	矢 板	3	12	12	0	0	0	0	0	1	0
	馬頭小川	0	20	21	0	1	1	1	0	0	0
	高 根 沢	1	16	15	0	1	0	1	-1	0	0
第3グループA	宇 都 宮	3	106	109	0	2	7	4	3	2	2
	宇 都 宮 西	0	75	77	0	1	3	1	2	0	0
	宇 都 宮 北	0	43	44	0	0	2	1	1	0	0
	宇 都 宮 90 (宇都宮90歳・91歳)	0	47	45	0	1	0	2	-2	6	1
	宇都宮陽北	0	40	41	0	0	2	1	1	9	5
第3グループB	宇 都 宮 東	0	121	117	0	0	0	4	-4	0	2
	宇 都 宮 南	0	54	53	0	0	1	2	-1	3	0
	宇都宮陽東	0	54	53	0	0	0	1	-1	11	1
	宇都宮陽南	1	27	25	0	0	0	2	-2	8	4
	宇都宮さつき	0	25	25	0	0	0	0	0	4	4
第4グループ	真 岡	0	57	57	0	0	0	0	0	0	2
	益 子	0	30	31	0	0	1	0	1	2	1
	真 岡 西	1	36	36	0	0	0	0	0	5	0
	しもつけ	1	22	21	0	0	1	2	-1	5	1
	第5グループ	小 山	1	22	22	0	0	1	1	0	1
第6グループ	小 山 南	0	15	15	0	0	0	0	0	2	0
	小 山 東	0	22	22	0	0	0	0	0	0	0
	小 山 北	0	23	25	1	0	2	0	2	0	3
	小山中央	3	23	24	0	0	2	1	1	1	2
	栃 木	2	45	48	0	0	3	0	3	4	0
第7グループ	栃 木 西	0	30	33	0	0	3	0	3	1	0
	岩 舟	2	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	壬 生	3	19	20	0	0	1	0	1	2	0
	栃 木 南	0	36	37	0	0	1	0	1	6	0
	日 光	0	21	21	0	0	0	0	0	0	4
第8グループ	鹿 沼	0	61	62	0	0	1	0	1	2	4
	今 市	0	43	43	0	0	3	3	0	1	0
	鹿 沼 東	0	38	38	0	0	2	2	0	4	0
	鹿 沼 中央	1	17	17	0	0	1	1	0	2	0
	今 市 ぎぬ	1	26	28	0	0	2	0	2	0	0
第9グループ	足 利	0	26	25	0	0	1	2	-1	0	0
	足 利 東	2	41	39	0	0	2	4	-2	6	0
	足 利 西	1	11	11	0	0	0	0	0	0	1
	足利わたらせ	1	34	34	0	0	1	1	0	0	0
	佐 野	0	56	56	0	0	1	1	0	0	0
48RC	葛 生	1	39	39	0	0	0	0	0	0	0
	田 沼	2	43	43	0	0	0	0	0	0	0
	佐 野 東	1	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	48RC	1703	1711	2	6	53	45	8	108	37	

(欠席した例会のメイクアップを同じ年度内に行う事ができるようになった為、今年度から 地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。)

コーディネーターニュース



Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2020年2月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

新型コロナウイルス感染拡大が第3波！ 緊急事態宣言

新型コロナウイルス感染の広がりが第3波と言われる状況下で2021年1月7日に「緊急事態宣言」が行われました。東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の一都三県に出され、更に関西圏や中部地域を始め各地にも拡大されるでしょう。我々は、経済活動を行いながらの「不要不急の外出の自粛を徹底」するしかなく、新型コロナウイルスのような次から次へと変異するウィルスを「地球上から抹消」する事は当然困難でしょうから、ウィルスと闘いながら日常生活スタイルを従来とは異なる新スタイルに変えていかざるを得ません。

手指の消毒とマスクの着用、3密を避ける、テレワークの推進、不要不急の外出自粛、を始め新型コロナウイルスの抑え込みの方法を考え実行してウィルスの広がりを抑えましょう。

数年の間続くとと思われるコロナ禍の中で、個々のロータリアンはまずは自分自身の仕事・社員従業員・家族を守ることに専念した上で、ロータリー活動を考えましょう。

ロータリークラブにおける楽しみが例会で会員同士の親睦、さらにクラブの外では他クラブの方々との交流が楽しみでした。今また例会を自粛する中で、Zoomなどのオンラインツールで会合を持っている方々が沢山居られます。会員の繋がりを大切に交流しましょう。

現在コロナ禍で医療崩壊が叫ばれ、その中で「献血」による血液の確保が大変厳しい状況に陥っているそうです。ロータリーの奉仕活動の一つとして献血を呼び掛け、更に地域で今必要とされる奉仕活動に目を配り種々なロータリー活動を実践しましょう。

と同時にこれからのロータリークラブの在り方とロータリーについて考える時です。考えましょう！

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 松坂 順一（東京葛飾東RC）

皆さん、こんにちは。ARPIC 加藤陽一（2760地区 瀬戸RC）です。

今回は私たち2760地区で開催しています、WFF（ワールドフード+ふれ愛フェスタ）についてお話ししたいと思います。と申しますのは、WFFは公共イメージ向上の手段として最もふさわしい手段であると自負しているからです。

WFFは2013年以降名古屋の中心地、栄地区で毎年開催し、今までに6回開催しています。（昨年、一昨年は台風とコロナの影響で開催できませんでした）主催は地区全体で各地区委員長が中心となり（委員長はバスターガバナー）企画しています。40社以上のフードカーが集まり、世界中の食べ物を出店しています。そして各地方から集まった楽隊や祭り集団が一日中音楽を奏でています。2日間の開催中ロータリアンだけでなく、一般のお客様を含め6～7万人の人々が集まり、一日中楽しんでいます。インターアクター、ローターアクター、ライラリアン、青少年が会場内の清掃、ポリオの寄附集め活動に活躍したりしてロータリー全体の活動を一般の人々にPRしています。また、新聞社、TV局の取材を多数受けており、ロータリーの公共イメージ向上の手段としては最適なものと思います。

収入としては会場内で利用できるチケットの販売（1枚2,000円。その内400円が寄附金）、一般企業からの広告などを中心に3,000万円ほどになり、結果としてポリオ基金に200万、国際奉仕（移動式教育ユニットの寄贈）は300万円ほど出すことができました。この様にWFFを通じ、ロータリー活動のPRの場としては最適なものと思いますので、他の地区でもぜひ同様な企画を通じてロータリーのPRをしてはいかがでしょうか？

※移動式教育ユニットは僻地での教育活動とポリオワクチン投与活動に利用するものです。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 加藤 陽一（瀬戸RC）

新入会員紹介



入会おめでとうございます



つち や やす のり
土屋 恭 則
氏家 RC
2021年1月1日入会
匠屋(株)
代表取締役

私は氏家地区で農業を営んでおります。皆様の御指導よろしくお願い致します。



なか むら とも のり
中村 友 宣
宇都宮 90RC
2021年3月1日入会
とちぎん IT 証券(株)
本店営業部 部長

今後とも宜しくお願い致します。



あらい ゆう すけ
荒井 祐 輔
宇都宮陽北 RC
2021年3月2日入会
(株)DAICHO
代表取締役

この度、入会させていただきました(株)DAICHOの荒井と申します。



く さか あつし
日 下 篤
宇都宮陽北 RC
2021年3月2日入会
Kusaka Vineyards
代表

この度、入会させて頂きました日下と申します。どうぞよろしくお願い致します。



はやし きみ のり
林 公 則
宇都宮陽北 RC
2021年3月2日入会
林設備工業
代表

今回入会させていただきました。何もわからないのですがよろしくおねがいいたします。



わた ひき まさ し
綿 引 将 士
宇都宮陽北 RC
2021年3月2日入会
(株)ブルームス
代表取締役

この度、入会させていただくことになりました。よろしくお願い致します。

訃 報 ご冥福をお祈りいたします



渡邊 征夫 (わたなべゆきお) (宇都宮 90RC)
2021年1月23日逝去 (享年76歳) 1990年5月14日入会
ロータリー歴
1991-92、会員増強委員長 1993-94、クラブ奉仕委員長
1995-96、SAA 委員長 1997-98、職業奉仕委員長
2000-01、国際奉仕委員長 2001-02、副会長
2005-06-06 第17代会長 2009-10 国際奉仕委員長
2012-13、会員増強委員長 2013-14 副会長
マルチプル・ポールハリス・フェロー (MPHF) 3
米山功労者 6

訃 報 ご冥福をお祈りいたします



皆藤 美實 (かいとうよしみ) (宇都宮東RC)
2021年2月20日逝去 (享年85歳) 1971年11月2日入会
ロータリー歴
1991-92、国際交流会員
1993-94、会長
1994-98、研究グループ交流派遣受入委員長
1998-00、ロータリー財団委員長
財団 メジャードナーレベル1、第20回 米山功労者
メジャードナー、ベネファクター



国際ロータリー第 2550 地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町 142

宇都宮グランドホテル内

TEL.028-651-2550 FAX.028-651-2551

E-Mail : m2550@agate.plala.or.jp URL <http://www.rid2550.com/>